

高齢者部会研修会

少産少死の高齢社会の中で、身寄りについての問題はかねてより課題となっている。地域社会の中でも成年後見制度や地域包括ケアやケアマネジメント体制の中、支援体制を構築に努めて現状がある。それでも、社会の変化とともに、身寄りの問題は減るところか、増している状況にある。

山武の地域で、この問題について率直に話し合ってみませんか？

- テーマ 身寄り問題～悩みの共有・検討編
日時 7月9日(火) 13時30分～15時30分
場所 山武健康福祉センター3階 大会議室(東金市東金907-1)
内容
・「身寄りの問題」についてのアンケート調査報告
・みんなで悩みを共有しよう。みんなで対応について考えよう。(グループワーク)

児童部会

(子育てミニ集会)

「子育ての不安や子ども・親支援の悩みを聞いてほしい」「親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場がほしい」という親御さんの声、支援者のご要望に応え、子育てミニ集会を行います。

保健・教育・福祉などの分野を問わず、毎回、ゲストスピーカーをお招きして、いろいろな方が集まり話せる機会です。

ご興味のある方、いろいろな人とお知り合いになりたい方などお気軽にご参加ください。子どもの参加もOKです。

- テーマ 子どもを犯罪から守ろう 第2弾
日時 8月26日(月) 18時30分～20時
場所 中核地域生活支援センターさんネット
対象者 子どもの保育・教育・保険・福祉支援に携わる人(興味のある方も大歓迎)
子育て中のお父様・お母さま・お子様どなたでも参加できます。
費用 無料
※第3回は11月25日(月)予定 内容: 青少年相談員と繋がる

～編集後記～

4月より新事業所への転居、5月には、年号が平成から令和と変わり、6月の新緑とともに、さんネット通信3号の発行となりました。

先日、体調を壊し、風邪をひき咳と喉の痛みに苦しんでいたところ、蜂蜜大根が喉に良いと聞き試しました。一週間ほどで、長引いていた咳は治りすっきり！病院でいただいた漢方薬は苦く、蜂蜜大根は美味しく良薬は口に美味しい方がいいと思いました。皆様も、体調に気をつけてお過ごしください。



アクセス: 電車をご利用の場合 成東駅下車 徒歩7分

お車の場合 国道126号をご利用ください

発行元: 中核地域生活支援センターさんネット
【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電話 0475-77-7531

FAX 0475-77-7538

E-mail sun.net@npo-link.jp

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当: 須藤・佐藤

発行責任者: 吉井



中核地域生活支援センターの15年。

中核地域生活支援センター（以下、中核センターと略）が千葉県で産声を上げてから15年が経ちます。設置当初より「24時間365日の対象者を限定しない分野横断的な総合相談窓口」として、地域に根ざした福祉活動をそれぞれのセンターが創意工夫をしながら取り組んでいます。

同じ、中核センターでも、所変われば、相談の傾向も様々で、世帯構成・相談内容と支援方法、関係機関等や活用できるサービス等に差異があるように思います。

それに対応するため中核センターは県内をはじめとする支援者間のネットワークを活用し、常にアップデートされた情報やサービスを把握し、広く住民の福祉の向上に努めています。

山武圏域において、「さんネット」として活動させていただき1年が経過しました。これも、地域の皆様との日頃からのご協力と連携体制があったことです。

この1年の活動のポイント（相談実績）を以下の通り整理いたします。

1. 地域のニーズを反映した支援活動と社会資源づくり

出張講座・意見交換会を行政や住民団体等からのオーダーを受け、講座企画から講師の調整、当日の運営協力等を行うことで、地域のニーズを拾い上げ、ひきこもり家族の集いなど、今までにはない社会資源の創出を、地域住民及び関係機関等と共に作り上げたこと。

2. 広域性と市町村バックアップの取り組み

広域設置の中核センターの役割として、地域福祉計画未整備の自治体と共に、整備に向けた意見交換や先駆的自治体との勉強会の開催を行うことで、市町村等に対する広義のバックアップを中立的な意味合い及び仲介的な立ち位置で調整を行ったこと。

3. 人材(財)の活用とネットワークづくり

山武がつながる相談支援ネットワーク交流・研修会を行い、多分野多職種の方々との交流を通じ、互いの役割を知り交流を深められたこと。その後、日々の連携を深める活動団体として「山武がつながるネットワーク」を任意で立上げたこと。

今年度、千葉県は犯罪をした方が矯正施設等を出所した後、安定した地域生活を送ることができるようになるまで「切れ目の無い生活支援」を実現することを目的に「千葉県地域再犯防止推進モデル事業」を実施しています。国の刑事司法関係機関、行政及び民間の福祉関係団体その他関係団体と連携体制を構築していき、相談者・対象者と社会支援をつなぐコーディネーターの役割を中核センターは担うこととなります。

平成から令和となり、中核センターも個別の支援から戸別（家族）及び地域の支援に向けた取り組みを、さらに深めていくこととなります。
(地域総合コーディネーター 赤堀)

中核地域生活支援センター大会 in 2019

テーマ：「社会的孤立から共生へ 犯罪・非行の向こう側に見えて来るもの」

内 容：基調講演

『再犯防止のために私たちにできること』

講師 後藤弘子氏（千葉大学大学院専門法務研究科教授）

報 告 『中核地域生活支援センター活動白書2018』『千葉県地域再犯防止推進モデル事業』
シンポジウム 『社会的孤立から共生へ』

日 時：2019年8月2日（金）10：00～16：00

定 員：500名 参加費：800円

会 場：千葉県教育会館 大ホール

（JR 千葉駅20分 JR 本千葉駅12分 JR 京成千葉中央駅12分）

主 催：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会 共催：千葉県

お問い合わせ先：まるっと TEL 047-409-6161 FAX 047-409-6162



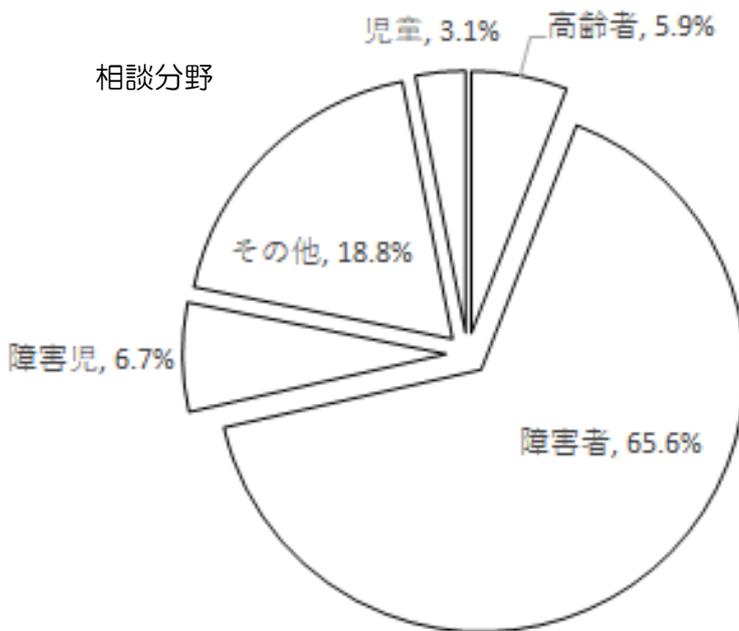
平成を締めくくる「さんネット」の1年

昨年度は、4,407件の相談がありました。一件々に生活上の課題があります。「みんなで支え合う社会」をテーマに令和時代の『さんネット』は様々な取り組みを行っていきます。

相談件数

市町	人口	相談者	対人口/相談者
東金市	58,554	1,450	40.38
山武市	51,625	917	56.30
大網白里市	49,434	909	54.38
九十九里町	15,899	299	53.17
横芝光町	23,760	675	35.20
芝山町	7,301	157	46.50

(人口：平成31年4月1日時点)



さんネットは広い分野の相談が寄せられる為、高齢・障害・児童関係機関等と教育・保健・医療機関を繋ぐ役割や司法分野と関係機関が直接相談し合える関係作りなど、様々な分野を『リンク』= 繋げていくこともテーマになっています。



山武圏域自立支援協議会からのお知らせ

地域の障害者福祉に関する協議を目的として、行政・福祉・教育・障害当事者、その他さまざまな分野から構成される『山武圏域自立支援協議会』。新しいホームページが開設されました。協議会の取り組みや福祉情報などお知らせいたします。

 <https://sanbu-jk.com>

山武圏域自立支援協議会

<https://sanbu-jk.com/> ▼

山武圏域自立支援協議会のオフィシャルホームページです。

※キーワード検索の場合、検索 domain をご確認ください。



山武圏域連絡調整会議報告

児童部会 「子育てミニ集会」

子育てミニ集会は、平成22年度～24年度までの3年間、子どもに携わる支援者・支援機関及び、子育て中の親子の皆さんが、気兼ねなく集まれる、自主的な交流活動の場として、実施していたが、参加者の減少で休止していた。しかし「子育ての不安や子ども・親支援の悩みを聞いてほしい、親御さんの悩みにどうサポートしていけばよいか話し合える場がほしい！」という声が、関係機関から聞こえてきたため、その声に応え、子育てミニ集会を復活させました。

- ①平成30年 5月28日 テーマ：子どもとSNS
- ②平成30年 8月27日 テーマ：子どもの学習を手助けしたい人集まれ！
- ③平成30年11月26日 テーマ：犯罪から子どもを守れるか！？
- ④平成31年 1月21日 テーマ：地域に開かれら学校の取り組みを知る

高齢者部会 第二回医薬と福祉がつながる座談会ご報告

日時：2019年2月18日（月）13:00～16:30

場所：東金市ふれあいセンター 1階多目的室

講師：城西国際大学福祉総合学部

客員教授 松下 やえ子 氏

内容：地域活動と介護（快互）のすすめ

12事業所が活動内容のチラシやパワーポイントを持参。それぞれの地域活動の発表、5分～15分の時間に区切り行われた。事業所主体のプレゼンテーションだけでなく、地域での居場所づくりに携わっている高齢者からの発表もあった。それぞれの活動を見直す良い機会となった。



松下先生ありがとうございました



九十九里沿岸地域で介護分野をけん引してこられた、城西国際大学福祉総合学部松下先生には「これまでの介護福祉・これからの介護福祉」についてご講演をいただきました。

